

臨床哲学・人間学

単位数：1単位(30時間)

責任者：山藤 賢
学年・学期：第1学年・前期

◆学習目標

哲学とは、物事をより深く掘り下げていくことで、その意味や智慧を見いだしていくものである。医療人において大事なことは「人の心に寄り添うこと」であり、最も身近な存在でありながら最も遠い存在でもある「人間」について、幅広い視点から探究することで、生きるものの意味をそれぞれに感得する。

◆学習方法

一方的な講義形式ではなく、いくつかの本や、映像、テーマなどを題材に、対話形式で進める。「自分がどう感じるのか、どう考えるか」を大切に、「他人がどう感じるのか、どう考えるのか」を聴くことも合わせて、自分を深めていく。また医療人になる立場として考えていかなければならないこともある。正解のない世の中において、自分自身と向き合い、生きていく力を身に付けていくための、考える時間としたい。

◆評価方法

出席、授業態度、課題、レポートなどにより総合的に評価する。

◆教科書

山藤賢著「社会人になるということ」幻冬舎 '13年

吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」岩波文庫

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項 目	講 義 内 容	担 当
1	第1回	なぜ「働く」のか？	山 藤
2	〃	〃	〃
3	第2回	「自分らしさ」とは何か？	〃
4	〃	〃	〃
5	第3回	「頑張る」とは何か？ 「一生懸命」とは何か？	〃
6	〃	〃	〃
7	第4回	「正しさ」とは何か？	〃
8	〃	〃	〃
9	第5回	「仲間」とは何者か？	〃
10	〃	〃	〃
10	第6回	「成長」とは何か？	〃
12	〃	〃	〃
13	第7回	「リーダー」とは何者か？	〃
14	〃	〃	〃
15	第8回	まとめ	〃